

『おそ松くん』のキャラクター・イヤミが使うザンスの分析

言語学・応用言語学専門分野 中島結香

1. はじめに

金水（2003）は、登場人物の台詞に手っ取り早く個性を加える表現方法として発話の最後に付けた特定の語尾を「キャラ語尾」と名付けた。本論文では、赤塚不二夫原作の漫画『おそ松くん』に登場するキャラクター・イヤミが特徴的に使用するキャラ語尾である「～ザンス」という表現に注目した。ザンスの由来としては、「ゴザイマス」と同じく「御座ります」の音変化であると考えられるが、本論文で問題とするのは(1)である。

(1) イヤミの使うザンスはゴザイマスと同じであるか。

本論文では、竹書房出版の文庫版コミック『おそ松くん』全22巻からデータ収集を行い、「～ザンス」という表現が頻出する第7～22巻から、937文の例文を抜きだし、その用法を分析した。その結果、イヤミの使うザンスは、ゴザイマスとは大きく異なる使われ方をしているということを示した。

2. ゴザイマスの用法とザンスの現れ方

ゴザイマスは動詞「ある」の丁寧語か、「～でございます」の形で断定や状態を表す補助動詞の丁寧語として使用される。形容詞につくときは形容詞連用形のウ音便形につく。

- (2) a. 机の上でございます。
b. こんなことははじめてでございます。
c. 9月も半ばを過ぎましたのに、まだまだ暑うございますね。

一方、データ中ではイヤミの使うザンスは動詞として現れず、形容詞の後ろにつくことはあっても(3)dのように前接する形容詞が連用形のウ音便形になっていることはなかった。また、ザンスは様々な品詞に後接し、特にザンスが後続するうえでの制限はみられなかった。

- (3) a. さあ、あしたはいよいよ発表会ザンス！！ (7:57)
b. これからまじめにやるザンス (7:72)
c. おーい、きみたちちょっとこいザンス (8:11)
d. だから坂にはつよいザンス (7:130)
e. こしょうらしいザンス (9:80)
f. いただきますザンス (21:100)
g. いまちょうどいいとこザンスよ (7:70)
h. あやまるザンスからチビ太をはなしてちょ！！ (11:11)

3. ザンスの「ダ」「デス」「ゴザイマス」との言い換え

「～(デ)ゴザイマス」は、「～ダ」の丁寧形「～デス」よりもさらに丁寧な表現であるが、イヤミの使うザンスは必ずしもダ・デス・ゴザイマスで言い換えることはできない。ダ・デス・ゴザイマスとの言い換えを試みた結果、イヤミの使うザンスは助動詞と終助詞の性質を併せ持つことがわかった。

- (4) さあ、明日はいよいよ発表会ザンス (7:57)
さあ、明日はいよいよ発表会{だ/です/ございます}

- (5) さあ はじまるザンス (7:63)
 さあ はじまる{*だ/*です/*でございます}
 さあ はじまるよ

その他言い換えには(6)~(8)のようなパターンがみられた。

- (6) おや?おでかけザンスか?
 おや?おでかけ{*だ/です/でございます}か
- (7) きょうはきかいのちょうしがよくないザンス (7:103)
 きょうはきかいのちょうしがよくない{*だ/です/*でございます}
- (8) a. おはようザンス (8:19)
 おはよう{*だ/*です/ございます}
- b. おありがとうザンス (9:210)
 おありがとう{*だ/*です/ございます}

4. ノダ文におけるザンス

「動詞の終止形+ザンス」で命令の意味を持つとき、ザンスは「ノダ (ノ德斯) (ノデゴザイマス)」で言い換えることができる。このとき、ザンスが ϕ であると命令文として容認できないため、ザンスは「ノダ」の性質をもつ。また、疑問文や決意、詰問、願望などの意味を表すとき、ザンスを「ノダ」に言い換えると、より自然な文になる例文もみられた。

- (9) a. あとでおでんかってやるからがまんするザンス!![命令] (7:104)
 あとでおでんかってやるからがまんする{のだ/のです/のでございます}!!
 *あとでおでんかってやるからがまんする{ ϕ }!!
- b. これからどこへいくザンス?[疑問文] (7:102)
 これからどこへいく{のだ/のです/のでございます}?
- c. (独話で) ぜったいまもるザンス!![決意] (16:210)
 ぜったいまもる{のだ/のです/のでございます}!!
- d. このかおどうしてくれるザンス!![詰問] (17:189)
 このかおどうしてくれる{のだ/のです/のでございます}!!
- e. ミーはほんとの犯人がしりたいザンス!![願望] (8:131)
 ミーはほんとの犯人がしりたい{のだ/のです/のでございます}!!

5. 文法機能を持たないザンス

ザンスの代わりとなる助詞等が存在せず、ザンスが ϕ でも文意が変わらないとき、ザンスは文法的な意味を持っておらず、イヤミのキャラクター性を特徴づけるためだけの語となっている。

- (10) おフランスのたかいおくすりもってきたザンスよ!! (9:225)
 おフランスのたかいおくすりもってきた{ ϕ }よ!!

6. ザンスの変化形

データ中では、イヤミのザンスに「ザンした」「ザンショ」等の変化形がみられた。

(11) きょうも0点ザンした (12:51)

(12) チビ太くんはりょうしザンショ！！ (7:58)

7. まとめ

ゴザイマスの用法と比較して、イヤミの使うザンスはゴザイマスとは大きく異なる現れ方をしていた。また、ザンスはゴザイマスにはない文法機能を持つほか、文法機能を持たず現れている場合もあり、結果イヤミのザンスとゴザイマスは大きく性質の異なるものであることがわかった。

参考文献

赤塚不二夫 (2005) 『おそ松くん』 (文庫版) 竹書房

金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語役割語の謎(もっと知りたい!日本語)』 岩波書店